

第 47 回未来医療セミナー

心不全に対する細胞移植療法 -特にその paracrine effect に関する研究-

Translational Cardiovascular Therapeutics, William Harvey Research Institute,
Barts and The London School of Medicine, Queen Mary, University of London,
UK

鈴木 憲

細胞移植療法は新たな心不全治療法として極めて有望であり、その臨床応用が各国で進んでいます。しかしながら、この治療法の将来的成功のためには多様な面からのさらなる基礎研究が必要不可欠であるのは間違いありません。我々は移植された細胞の動態・変化及び心筋への直接的・間接的影響を多方面から解析することにより、これらの問題を解明するとともに、より安全かつより効果的なストラテジーを開発すべく研究を進めております。本講演では、我々の取り組み、特に細胞移植療法のもたらす paracrine effect に関する近年の知見を紹介したいと考えています。



2009.04.16
18:00-19:00

大阪大学医学部講義棟 B 講堂

連絡先: 未来医療交流会(大阪大学医学部附属病院未来医療センター内)

Tel:06-6879-6557, Fax:06-6879-6538

E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp

協賛: 21 世紀 COE 細胞・組織の統合制御にむけた総合拠点形成

- Center for Integrated Cell and Tissue Regulation -

